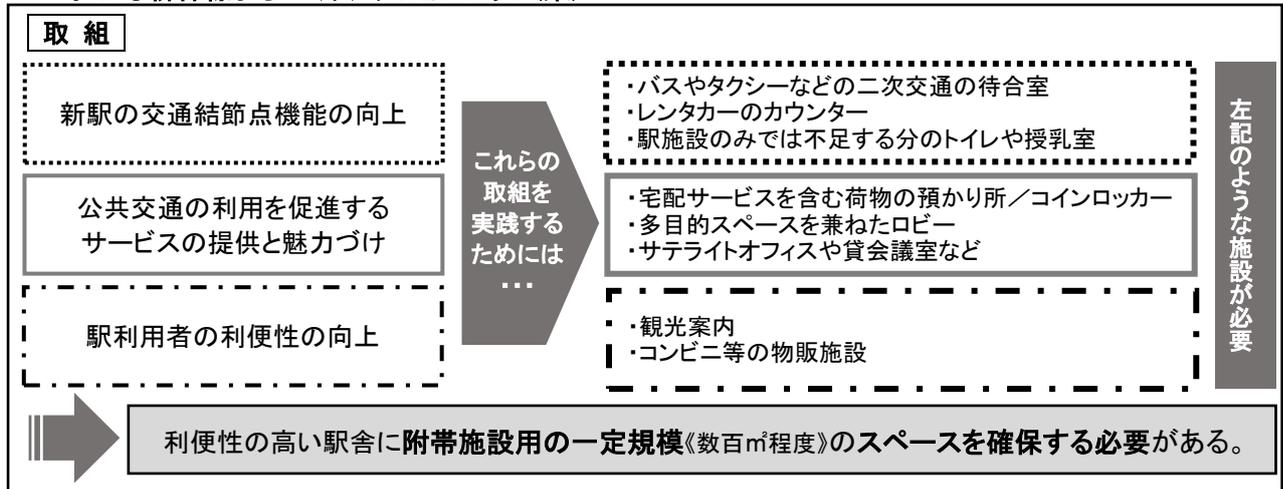


## 新小樽(仮称)駅の附帯施設について

### 1. これまでの動き =====

令和3年1月7日開催の「第6回 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会」において、下図のとおり「附帯施設用の一定規模のスペースを確保する必要がある」ことから、鉄道・運輸機構に対してスペース確保を要望していくことについて、本協議会で了承を得た。

#### ■ おたる新幹線まちづくりアクションプラン(案)



### 2. スペース確保の要望及び回答 =====

#### ① 要望(令和3年1月12日:市→鉄道・運輸機構)

《要旨》

- 必要な空間の確保について  
**附帯施設設置のために、高架下の駅前広場側に床面積 500 ㎡程度の空間確保を要望する。**
- 整備について  
上記(1)のとおり、小樽市が要望する位置及び規模の空間が確保された場合には、附帯施設の設置に伴う駅舎外壁及び内部造作について、小樽市で設計及び施工をする。
- 駅舎外壁の景観配慮について  
上記(2)の設計及び施工に当たっては、駅前広場側の駅舎外壁について、機構が整備する駅舎外壁との景観の調和に配慮する。

#### ② 回答(令和3年2月10日:鉄道・運輸機構→市)

～裏面:新小樽(仮称)駅施設配置図(案)を基本案として、以下のとおり回答があった。

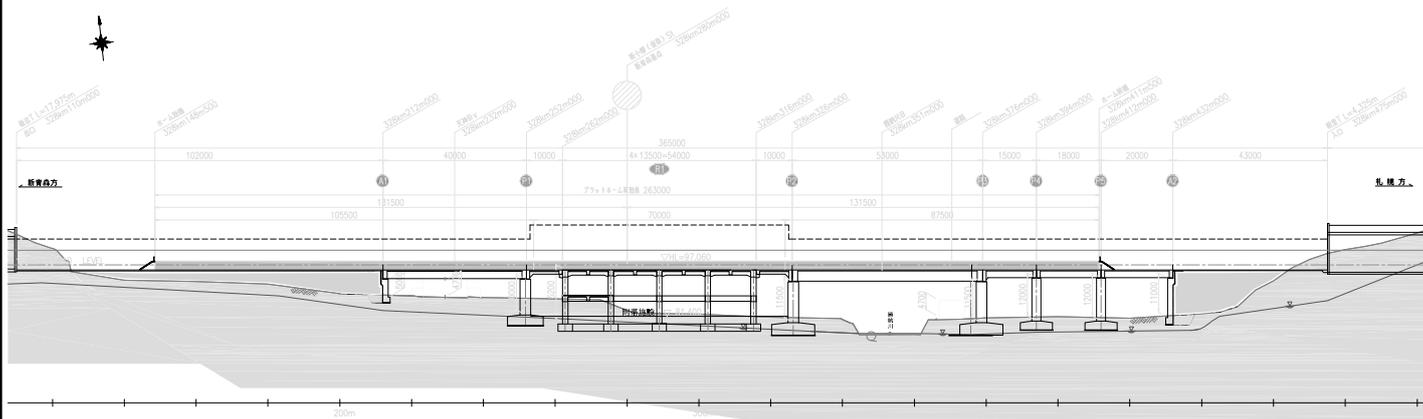
《要旨》

- 必要な空間の確保について  
**附帯施設の設置に必要な空間として、新小樽(仮称)駅高架下の駅前広場側に床面積 500 ㎡程度を確保することとする。**
- 整備について  
附帯施設の設置に伴う駅舎外壁及び内部造作については、小樽市で設計及び施工するものと考えている。
- 駅舎外壁の景観配慮について  
駅前広場側の駅舎外壁について、機構が整備する範囲の駅舎外壁の景観との調和に配慮するようお願いする。

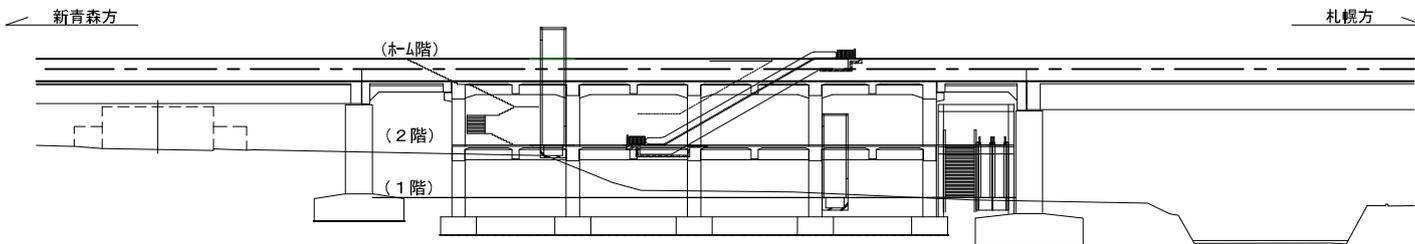
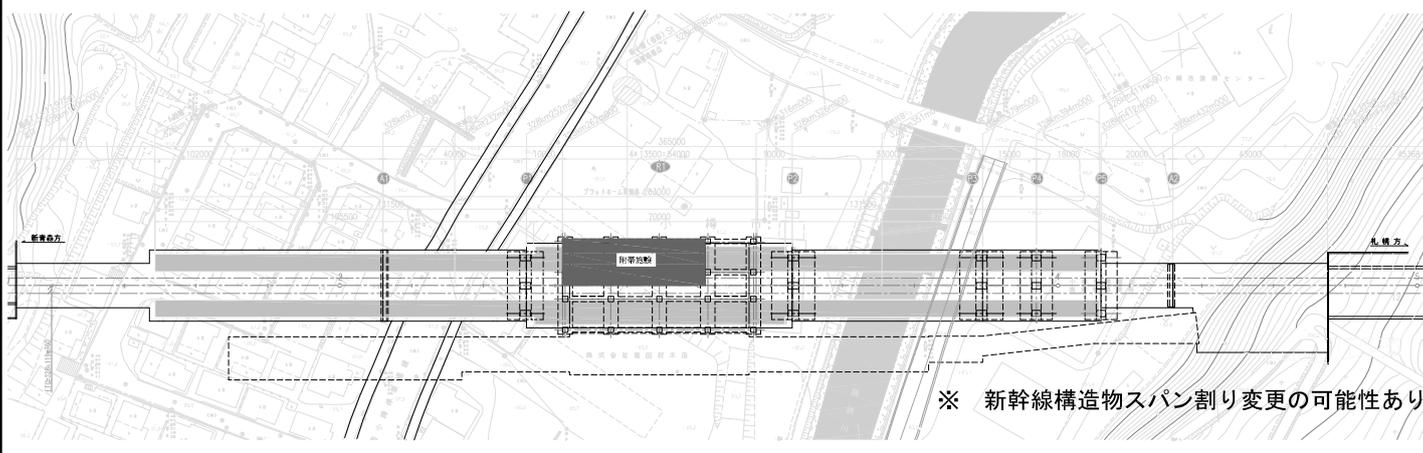
### 3. 今後の進め方 =====

- 今後、附帯施設のレイアウトを事務局にて検討した上で、まちづくり協議会に示して議論を進める。
- 駅舎の基本設計が始まる令和4年夏頃までにレイアウト(案)を固め、駅舎設計と整合を図っていく。

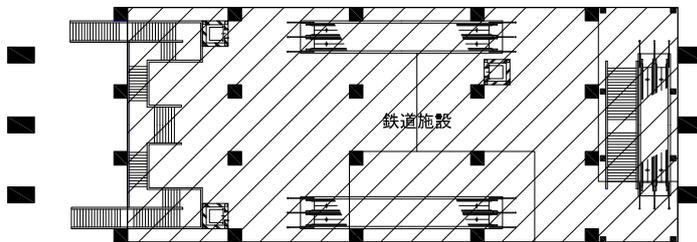
縦断面図



平面図

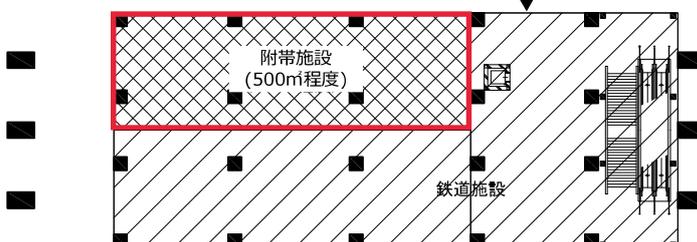


縦断面図



平面図（2階）

- 凡例
-  付帯施設 (小樽市都市施設)
  -  鉄道施設



平面図（1階）